

住化・住武相談室だより

第6号 6月10日

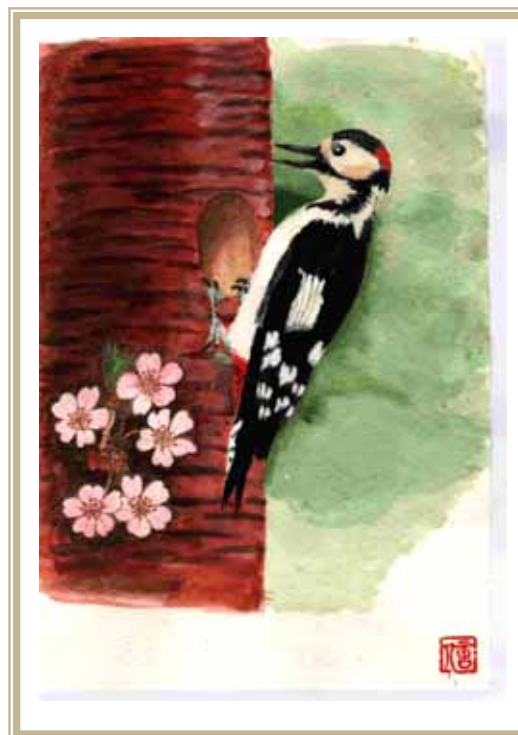
発行 住友化学・住化武田農薬

お客様相談室 0120-677-088

発行責任者 古津 昇

目次

JAS制度と特別栽培農産物(その4)……	p.1,2
IPMの現状と今後(シリーズ) ……	p.3
雑草よもやま話(6) ……	p.4
住友化学アグログループ会社紹介	
<住化農業資材(株)> ……	p.5
市場情報NO.4 夏野菜「きゅうり」……	p.6
農薬あれこれなぜなにコーナ……	p.7
今月の推進農薬「夏野菜の病害対策について」 ……	p.8
今月の相談内容から ……	p.9
知って得する防除の仕方 ……	p.9
誰にでもできる楽しい野菜作り ……	p.10,12
病害虫発生情報 ……	p.12,13
登録情報 ……	p.13
トピックス：種苗に関する省令が変 わります ……	p.13
コラム・そば談義 ……	p.14
編集後記 ……	p.14



JAS制度と特別栽培農産物(その4)

日本農林規格制度（JAS法）と特別栽培農産物について（最終回）

1、JAS法は二つの制度から

JAS法は、農林物資の規格化による品質の改善、生産の合理化、取引の単純公正化および使用または消費の合理化を図るため、日本農林規格（JAS規格）による検査に合格した製品にJASマークをつけることを認める「JAS規格制度」と、一般消費者の選択に役に立つように品質表示基準に従った表示をすべての製造業者又は販売業者に義務付ける「品質表示基準制度」の2つ（農林水産大臣が制定）からなっています。

また、農林物資とは酒類・医療品等を除

く①飲食料品および油脂、②農産物・林産物・畜産及び水産物ならびに、これらを原料又は材料として製造し、又は加工した物資（一般材・合板・生糸等）などは国内外を問わずJAS規格制定の対象になります。（平成16年7月現在、76品目246規格が定められています）

2、2種類の格付けと特定JAS規格

次に、規格の内容は①適用の範囲、②定義、③基準、④測定方法から構成され、(1)品位、成分、性能等の品質に関する基準を定めたもの (2)生産の方法について基準を

定めた2種類のタイプの格付けがあります。その他、特定JAS規格と呼ばれる特別なものもあります。

JAS規格に定められた品目が、それに適合していると判定することを格付けといいます。格付けを受けた製品はJASマークを付けることができます。この格付けを受けるかどうかは、製造業者等の自由に任せており、JASマークの付されていない製品の流通にも制限がありませんので、JASマーク制度の普及は基本的にJASマークにより品質が保証された製品が市場において消費者に好まれ、選択されることにかかっています。

格付けの方法には格付機関か認定機関である第三者認証によりマークの信頼性を担保する仕組みになっています。検査方法は、製品から試料をサンプリングして検査判定します。また、格付機関による格付けは最終製品の荷口ごとに登録格付け機関に格付けを申請します。

3、現在の有機農産物制度までの流れ

さて、政令で定められた指定農林物資とは、有機農産物および有機農産物加工食品の2つです。平成13年に「特別栽培農産物に係わる表示ガイドライン」の改正が行なわれ、その適正化が図られてきましたが、ガイドラインは法的強制力を有していないため、不適切な表示が多く見られ、消費者・生産者の双方から法制度に基づく表示の規制を行うことへの要望が高まってきました。一方、国際的には平成11年コーデックス委員会において有機食品の生産・加工・表示および販売に関する国際ガイドライン（コーデックスガイドライン）が制定され、その生産基準、第三者機関による検査認証の仕組みや有機食品の表示の適正化に関する指針が示されました。このような状況に対応するため、有機農産物および有機農産物加工食品（以下「有機農産物」）に特定JAS規格を定め、その検査認証制度を整備すると共に、食品表示規制のかかる指定農

林物資にすることにより、有機食品の適正表示化を図ることになりました。すなわち、有機農産物について指定機関から認定を受けた生産者が、その特定JAS規格に適合するかどうかを格付又は格付の表示を行い、有機JASマークの貼付されたものでなければ「有機〇〇」「オーガニック〇〇」等という表示が出来なくなりました。

4、特別栽培農産物の概要

有機農産物と比べて若干制度が緩やかなものに特別栽培農産物があります。化学合成農薬と化学肥料をともに慣行の一定以上（50%）減らして栽培された農産物については、特別栽培農産物として表示が可能になっています。なお、ガイドラインで定められた適用の範囲や名称などの表示方法については新ガイドラインが平成15年4月に公表され、平成16年4月1日に施行されています。

5、最後に

さて、JAS規格制度は5年に一度見直しされて法制化されていますが、今年がその年に当り近々公示されます。また、品質表示違反者には、氏名を公表しかつ罰則も大幅に強化されました。懲役1年以下、罰金は個人100万円以下、法人1億円以下となっています。最近、新聞などに違反した企業名の掲載が目につきます。

おわりに、弊社のJAS適用農薬のご紹介をします、まず、殺虫剤ではBT剤のエスマルクDF・フローバックDF・ブイハンターフロアブル・ゼンターリ顆粒水和剤・ダイポール水和剤と天敵カメムシのオリスターAです。殺菌剤はボルドーです。また、まだ公示されていませんが主成分が澱粉の粘着くん水和剤（登録申請中）が採用されることになりました。＜因みに粘着くん液剤はJASには適用されていません。理由は、加工澱粉（化学的処理）のためです＞

(F・N)



I P Mの現状と今後(シリーズ)

【露地作物のI P Mに土着天敵の効果を利用する事例－露地野菜の例】

どんな害虫にとっても有力な天敵類が数種類程度いるのが普通です。施設栽培では土着の天敵が働かない冬の時期にも害虫の発生があり、また施設という閉鎖的な条件のため、もともと土着の天敵類が働きにくい面があります。そのため市販の天敵製剤を導入するのが一般的ですが、露地の作物では土着の天敵類が活発に働く夏季を中心に、それらの天敵を保全してその効果を害虫防除に取り入れる方法が試みられています。

たとえば、露地のナスやピーマンの畑にイネ科の作物(ソルゴーやトウモロコシ、ムギなど)を混植したり、周りを囲むように植えておきます(障壁作物)。そうすると、それらのイネ科植物にはやがてアブラムシやアザミウマなどが発生します。そうすると、こんどはそれを求めて天敵類(アブラバチやテントウムシ、ハナカメムシ類など)も発生し、これらの天敵がナスやピーマンの害虫類も攻撃してくれるというわけです。もちろんイネ科の作物を植えなくても害虫



(ハナカメムシの写真)

の発生があれば天敵類は発生しますが、この方法では、積極的に天敵を呼び集めて比較的早い時期から天敵の効果を生かそうとするわけです。また、イネ科で発生する害虫類は普通広葉の作物にはつかないため、その点でもすぐれた方法といえます。なお、最近では農地の景観美化や雑草の抑制を目的に、各種の花類を農地周辺に植える例が増えていますが(カバープランツ)、これらの花類にも害虫の天敵類が集まってくるので、これらを利用する試みも検討されています。

以上の方法は主にアブラムシやアザミウマ類に有効な方法です。他の害虫(りんし目害虫やハダニ、ホコリダニ類、テントウムシダマシなど)や病害に対しては、当然発生に応じて、この方法と矛盾しないような方法(たとえば、選択的のある殺虫剤やBt剤、殺ダニ剤、殺菌剤の散布など)を組み合わせる必要があります。

(H・M)



(テントウムシの写真)

雑草よもやま話(6)

古来から水田の最大の害草はノビエです。一般にノビエと総称されている雑草にはタイヌビエ、ヒメタイヌビエ、イヌビエ、ヒメイヌビエがあります。

タイヌビエとヒメタイヌビエはイネの擬態植物であり、イネに姿形が非常によく似ています。そのため手取り除草時代には最も防除が困難な雑草でした。

人間が手取り除草を行うことによって無意識に作り出した、イネに似た最高で最悪の雑草ではないでしょうか。

しかし、除草剤で防除するようになってからは、比較的容易に除草できるようになりましたが、水田の重要雑草の地位は変わっていません。湛水条件で管理される水田は、タイヌビエとヒメタイヌビエの出芽・生育に最も適しています。ヒメタイヌビエはタイヌビエよりも小型で、分布域はタイヌビエよりも狭く、種子も小さいのが特徴とされています。

イヌビエには小穂の先端の芒（のぎ）が極めて長いもの（ケイヌビエとも呼ばれる）からほとんど無いものまであります。イネと草姿が異なることから、手取り除草時代

には比較的容易に防除されていましたが、最近では水田内にも多く見られるようになりました。他の種よりも出芽時期が早いいため生育の進行が早く、除草剤の処理時期が遅れないように注意する必要があります。

ヒメイヌビエは畑条件に適応した特性から水田ではほとんど発生しませんが、乾田直播栽培では初期の畑状態が出芽・生育に好適であることから、連続して転換畑にすると多発生することがあるようです。

これらのノビエに加えて、最近ではコヒメビエ（別名：ワセビエ）が九州の休耕田や畦畔に侵入していることが確認さ

れ、水田雑草となることが懸念されています。

漢字の「稗」と「稭」は共に「ひえ」と読みますが、「稗」は雑草のイヌビエや一部栽培されているヒエ属のヒエを、「稭」はオヒシバ属のシコクビエ（食用栽培種）を意味する（松中）そうです。



ケイヌビエ

(I・K)

☆群馬大学社会情報学部 青木繁伸様より（写真）提供をうけました。

住化農業資材株式会社

さまざまな作物への<水やり>には、住化式・灌水チューブ

施設栽培から露地栽培、株元やマルチ下・樹下などへの散水まで、幅広いニーズに応えた豊富なラインナップで取り揃えております。どのチューブも優れた”均一散水性”が自慢です。

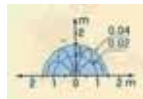


噴霧散水タイプ

(ハウス向け) 軟弱野菜・葉物/イチゴ・果菜類の育苗用/水稻育苗 など

(露地向け) 露地野菜 全般/芝など

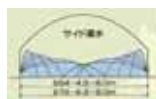
汎用性(散灌水) スミスサンスイM スミスサンスイマーク スミスサンスイM03 (孔径0.3mm) より広くワイドに スミスサンスイR-ハウスワイド 散水幅7.2m スミスサンスイR-育苗 (新) 散水幅5.4m



覆上から細かい霧状散水 葉水やり (簡易冷却・加温にも) ミストエース20 ハウススクール02L ハウススクール04L

散水幅 最大10m スミスサンスイR-露地ワイド 散水幅 最大15m スミレイン40

より優しく霧状に (ハウス両サイドから灌水) 軟弱野菜・水稻育苗に最適 ミストエース S54 6.0m間口まで ミストエース S72 8.0m間口まで



約1.5m幅を優しい霧状で散水(小幅タイプ) イチゴ・花苗などのポット育苗に ミストエース20 ポット育苗 (新)

ナント、こんなに種類があります!

ミスエース S 54・72

水平散水タイプ;横とび

(株元灌水 マルチ下灌水)

花卉類/果菜類・イチゴ本圃/根菜類 など

汎用性 スミスサンスイマルチ 60、100、100-03 スミチューブ果菜、06-60 (孔径0.6mm)

果樹類 (平坦地)

水平散水にて霧状に 散水幅 最大2m ミストエース35 ダブルウィング

霧状に面散水、スミドリップWの後継チューブ ミストエース20 サイテキ 02L サイテキ 04L

トビックスへ

花卉類/アスパラガス など

片側から霧状に ミストエース20 サイドライン ノズル方式 散散水 スミホース



ミスエース20 サイドラインの霧状散水

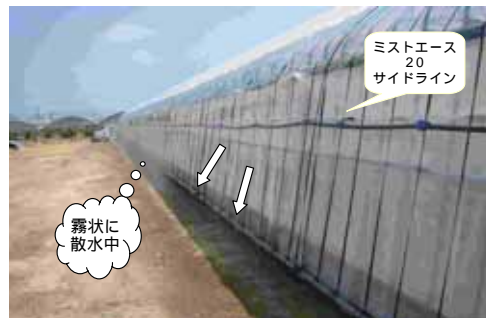
トビックス

このような”防除”も可能です!!

ミスエース20 サイドライン 霧状散水には、こんな用途もあります ~ トマト ハウス栽培向け 応用例 ~ シルバーリーフ コナジラミ ハウス内への侵入阻止に抜群!!



ハウスサイドの防虫ネットに向け、ハウス外側に設置したミスエース20 サイドライン より霧状散水することによって、防虫ネットに水皮膜を形成。水皮膜の効果によって、シルバーリーフコナジラミのハウス内への侵入を阻止します。この使用方法によって、トマトに大敵の「黄化葉巻病」の発生を大きく抑制する効果が確認されております。



市場情報 NO.4

夏野菜「キュウリ」・・・その1

§キュウリの歴史§

日本エコアグロ(株)

農産商品部 大家 修

双子葉植物、合弁花亜綱、管状花目、ウリ目、ウリ科。北部インドからネパールにかけてのヒマラヤ山麓原産の一年生蔓性植物。

世界的に普及した野菜のひとつで、インドや西アジアでは三千年の昔から栽培され、紀元前にヨーロッパや中国に伝わり、日本には10世紀頃に伝来してきました。キュウリは黄瓜の名で天平年間（飛鳥時代）の記録が残っていますが、現存する最古の文献では「本草和名」（918年）に胡瓜の名がみられます。

奈良・平安時代にはカラウリ（唐からきたウリの意味）またはソバウリと呼ばれ、江戸時代に黄瓜（キウリ）と呼ばれたのは、青いウリには苦味があり毒とされ、黄色に熟してから食べたことに由来するそうです。

江戸時代、貝原益軒が「是類の下品也。味よからず、水毒あり・・・」と言っているようにあまり評判の良い食べ物ではなかったようです。またキュウリの切り口が徳川家の三つ葉葵の紋章に似ていることから、恐れ多いとして食べなかったとも言われています。

因みに、当時、食用の瓜類としては、農業全書（1697年 宮崎安貞）に、黄瓜（キュウリ）、甜瓜（アマウリーまくわうり）、菜瓜（ツケウリーアオウリ）、越瓜（アサウリー白瓜）、冬瓜（トウガンーとうがん）、西瓜（すいか）、南瓜（なんきん）、糸瓜（へちま）が記載されています。

いずれにしても、江戸時代までは下等のウリと蔑視されていたキュウリが見直されたのは、明治時代以降です。大正時代になってようやく本格的に食べられるようになりました。その後大衆野菜として、例えば1969年には95.5万トンもの生産量に達し、世界一のキュウリ消費国になっています。

なお、一般に「キュウリ」と呼ばれていますが、本来、和名は「きうり」、中国では「胡瓜」または「黄瓜」と書きます。英名「Cucumber」、独名「Gurke」、仏名「Coconnbre」と言い、学名「Cucumis sativus」です。（続く）



☆群馬大学社会情報学部 青木繁伸様より（写真）提供をうけました。



街路樹などの害虫 防除の季節です！

ご質問

6月に入り、街路樹などの害虫防除の季節となりました。この手の防除といえば、「スミチオン」が定番ですが、ちょっと気になることがあります。

まず、薬剤自体は薄めて使われるのでしょうか、散布されると、どのくらい飛散するのでしょうか？また、もし万一通行人にかかってしまっても大丈夫なのでしょうか？それから、「車の塗装汚染がある」とも聞きましたが、実際どうなのですか？そのあたりも教えてください。

お答え

薬剤の飛散距離は、散布時の状況により大きく異なります。どの程度の風が吹いているか、噴霧器の性能（単位時間当りの噴霧量の大小）などにより大きく左右されます。

家庭用の手動式噴霧器で無風状態の散布であれば、どんなに飛散しても数メートル以内ですし、動力式の噴霧量の多いもので、風が強い時に散布すれば、風下側には数十メートル飛散することもあります。農薬を散布される際は、風の弱い日、特に一日の中でも風の弱い早朝か夕刻に散布されることをお勧めします。

また散布される時は特に風下側に、かけてはならない物（自動車等）がないことや、人通りのないことを確認の上で散布してください。自動車等にかかった場合には早急に水で洗い流してください。そのままにしておきますと、塗装面が化学変化を起こして変色してしまい、洗剤等で洗っても落ちなくなります。

万一一人にかかってしまった場合は、通常 1000 倍程度に希釈していますので、人体への影響はかなり少なくなっていますが、できるだけ早く皮膚の露出部を中心に石鹸でよく洗ってください。

農薬を散布される場合には、登録内容を守っていただくことはもちろんのこと、注意事項もよくお読みいただき、散布時の周辺の状況にも配慮の上でご使用ください。



(I・T、S・H)

今月の推進農薬

夏野菜の病害対策について

【リゾレックス水和剤・スターナ水和剤・バリダシン液剤】

解説にあたり、キャベツは3～4月には種して7～9月に収穫（東北及び高冷地栽培）、はくさいは5月には種して7～9月に収穫（高冷地栽培）、レタスは5～8月に収穫（北海道・東北）する作型を対象にしています。

さて、この時期の病害は「キャベツ」では春～夏の多雨でべと病、黒腐病、黒斑細菌病、黒腐病、軟腐病が発生します。「はくさい」は白斑病、黒斑病、べと病、菌核病、しり腐病が発生します。「レタス」ではすそ枯病、軟腐病、腐敗病、斑点細菌病が重要病害です。

では、各主要病害と防除薬剤のご紹介します。

住友化学が開発したスターナ水和剤（オキシロニック酸）は軟腐病、腐敗病に効果のある薬剤です。また、オキシロニック酸とリゾレックスの有効成分であるトルクロホスメチルの混合剤である「ソタールWDG」、有機銅との混合で斑点細菌病を強化した「ナレート水和剤」、同じく塩基性塩化銅との混合剤で「テレオ水和剤」、ストレプトマイシンとの混合剤「マテリーナ水和剤」などがあります。

「バリダシン液剤5」は住化武田農薬が開発した農業用抗生物質です。特定の酵素（トレファラーゼ）の活性を阻害して防除効果を発揮する薬剤です。糸状菌のリゾクトニア菌（キャベツの株腐病、レタスのす



そ枯病)と細菌病の軟腐病、腐敗病、黒腐病に効果を発揮します。汚れが少なく、高温時の散布でも薬害の心配がほとんどありません。

糸状菌対策ではべと病、黒斑病が重要で、「ダコニール1000」はべと病、白斑病、黒斑病、白さび病及びすそ枯病等幅広い殺菌スペクトラムを有する保護殺菌剤です。

「スミレックス水和剤」は灰色かび病、菌核病に予防効果と病斑伸展阻止効果があります。「ベンレート水和剤」は灰色かび病、菌核病とすそ枯病にも効果を発揮します。

「リゾレックス水和剤」はレタスのすそ枯病に登録があります。結球初期の感染が最も高まる時期では、糸状菌による傷口から細菌病が侵入感染しますので同時防除が必要です。

糸状菌には「ダコニール1000」や「スミレックス水和剤」、「ベンレート水和剤」を選択して、細菌病の防除には「スターナ水和剤」同混合剤又は「バリダシン液剤5」を使用することをお勧めします。根こぶ病には「ダコソイル」「フロンサイド粉剤」「ネビジン粉剤」が有ります。多発圃場では「ダコソイル」を、は種時での使用により無発病の株を作ること、耕種的防除と合わせた防除が重要です。風水害や害虫の加害痕からの感染があることから風水害の前後や害虫の防除も合わせて行ってください。

(NT)



今月の相談内容から

パダン粒剤をトウモロコシの上から散布しても大丈夫？

ご質問内容

トウモロコシのアワノメイガの防除方法として株の上からパダン粒剤を均一に散布するとあるが、株元ではなく、葉や穂に農薬がついても問題ありませんか？



回答内容

アワノメイガのふ化盛期に雄穂及び雌穂にも良くかかるように株の上から均一に散布します。2回防除が必要です。アワノメイガの産卵は雄花に産み付けます。7～10日で卵がふ化して幼虫になり雌穂（実）に移動して侵入加害をする性質からです。

第1回目の防除は雄穂がで始める前にパダン粒剤4を株の上から散布すると雄穂の出入りに入り、吸収され雄穂に移行し、ふ化幼虫を防除出来ます。第2回目の防除は雌穂が出始めた時に散布します。すると穂に付着してそこから雌穂に吸収移行して雌穂に侵入してくる幼虫を防除します。虫の生活史に合わせた防除方法です。

(NT)

☆群馬大学社会情報学部 青木繁伸様より（写真）提供をうけました。

知って得する防除の仕方

散布作業でぜひ守って欲しいこと？

散布作業中の安全性で一番注意しなければならないことはドリフト等で口や鼻から散布液を吸入することです。

同じ薬剤量でも、皮フに付着した場合に比べ経口吸入の方が数倍高く中毒の恐れがあります。毒性の評価基準で「劇物」の数値のラットにおける経皮毒性はLD₅₀で200mg/kg～1000mg/kg以下ですが、経口毒性の数値は50mg/kg～300mg/kg以下と4倍ものレベルになります。散布する時は安全のためマスクが必要です。

散布中、風などの影響でドリフトになった薬液を吸い込む恐れがあります。風速3m以上の条件では散布を控えます。微風条件では風を背にして散布をし、風に向かって後ずさり散布をしてください。果樹園等のSSによる散布ではUターンするときには散布した列の霧が収まるのを待って次の列の散布をするよう安全性を配慮して散布をしてください。農薬の注意事項のマークに準じてマスク、メガネ、防除衣等の使用が不可欠です。散布液が少し余ったときには始めに散布した所に散布をすると、既にそこが乾いていた場合には、前に撒いた薬剤と合わせて2倍の濃度になる恐れがあります。余った場合には最後に散布した所から再度散布してください。



(NT)

VOL. 2 誰にでもできる楽しい野菜作り

キャベツについて

(6月は日本国中何処でも、どのような品種でもキャベツをまけるシーズンです)



1) 6月まき品種の選択

●家庭でおいしく食べられる品種選び

キャベツは品種によって味は随分異なるものです。6月まきの品種の中には、台湾原産の「葉深」×「川崎」の組み合わせの品種の中においしいものが沢山あります。一例として味は最高だが、裂球しやすい「やひこ」と「やひこ」よりは味はやや劣るが裂球しにくい「柳生」を紹介しておきました。また冬どりの寒玉の品種の中ではもっとも味がよい「さくら(タキイ交配晩夏蒔四月穫)」も紹介しておきました。冬を越すと大変な赤紫色(アントシアニン)に着色します。しかし2~3枚皮をむけば緑色になります。この品種は暖地ではほとんど8月まきです。

●営利栽培や連作地では耐病性品種を

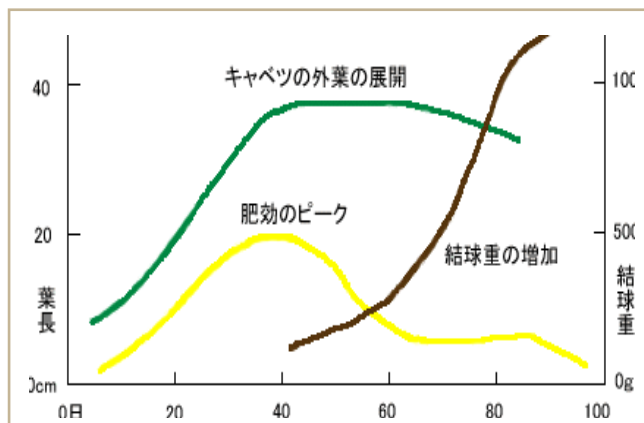
多くの産地は「萎黄病」や「根こぶ病」など土壌伝染性の病害に悩まされているところが多いです。そのようなところは多少食味が落ちてても、YRAとかYCRなどの病害抵抗性の品種が栽培されています。

2) 苗床での管理(種まきから植え付けまで)

種まきは通常、水稻の育苗箱に市販の種床用の床土を入れすじ蒔きとします。蒔いたら軽く覆土をして手のひらで十分土を押さえつけます(鎮圧といいます)。その上に新聞紙を2重にかけて新聞紙の上から十分灌水をします。今日種を蒔けば中2日おいて3日目の朝に発芽が揃いますから、2日目の夜に新聞紙をとり去っておきます。その後4~5日程度で鉢上げをしますが、葉菜育成用の床土を満たした連結ポット(セルトレイ)に仮植します。以前は本葉8枚頃まで育苗したこともありましたが、定植時に十分灌水できる場所や、6月まきの早生品種では、特にセルトレイ利用では本葉4~5枚程度で定植したほうが成績上がります。

3) 上手な定植の仕方

6・7月は一番日が長い時なので、晴天の午後3時頃から定植作業を始めます。梅雨明け前でしたら、キャベツはそう灌水を心配しなくても簡単に活着しますが、梅雨明け後で毎日晴天が続くようでしたら、定植してから5日間は連日灌水をするなど手入れをして下さい。定植後5日間うまく活着するかどうか決定します。



4) キャベツ生育の特性と施肥法

●栽植密度

以前はアール当たり 250～300 本程度の密度でしたが、最近では 500～550 本程度の密植が普通です。以前は 1 玉 2 kg 以上の結球も珍しくありませんでしたが、最近では 1.0～1.2kg 程度が普通です。2 条だきうね 120cm 巾のうねに 32cm 間隔で植えるとアールあたり 520 本植えになります。

●生育特性

キャベツは初期生育が重要です。まず立派な外葉を作らないと立派な結球はできません。定植後 40 日での外葉の葉長が 35cm を目標にします。それから結球が完了するまで 40 日かそれ以上の日数がかかりますから、最後まで肥切れしないほうが商品性のある結球を収穫できます。

5) 一発肥料の紹介

キャベツは一日も早く外葉を十分に展開させなければなりません。そのため一日も早く活着させ、その勢いで外葉をどんどん伸ばします。住友化学の製品でキャベツの一発施肥に適した銘柄を挙げておきます。これらの肥料の施肥前に石灰資材（消石灰ならば 100kg/10a）を打ち起こし前に散布しておきます。肥料散布鋤き込み後に、畝立て定植を行います。

肥料銘柄名	スミカエース 1 号 (18 - 10 - 14)	硝酸加特 2 号 (16 - 8 - 12 + 微量要素) + CR スミカエース 10 (10 - 10 - 10 + 微量要素)	SSR 肥料葉菜根菜 072L (20 - 17 - 12 - Mg1 - B0.2)
用途	窒素 18% の中で硝酸態窒素を 7.5% も含みますので、低温時の初期生育は抜群です。早春～春まきに最適。初夏まきも使用できます。	スミカエース 1 号より硝酸態窒素が少なくなります。5～6 月まきには最適の設計になります。季節によって硝酸加特 2 号の量を加減します。	夏まきキャベツでは各地で実証済みの優れた効果。低温期はやや初期肥効に問題。6 月まきには全国各地で使用が可能です。
使用法	10a あたり 7～8 袋（窒素成分で 25.2～28.8kg）を全面に散布して耕うん機などで畑土に十分すき混みます。	硝酸加特 2 号 = 10a あたり 4 袋、CR スミカエース 10 = 6～8 袋（窒素成分で 24.8～28.8kg）全園散布混和します。	10a あたり 6～7 袋を畑地全面に散布、耕うん機、トラクター等で十分畑土にすき混みます。
注意点	施肥直後に大雨が降ると、硝酸態窒素を流亡させてしまうことがあります。しかし早春～初夏は大雨は極暖地を除き少ないものです。	低温時期は硝酸加特 2 号を多くし、7 月まき 7 月下旬～8 月中旬植えでしたら、寒地を除き CR スミカエース 10 だけでも有効です。	多くの畑はカリが過剰になっているので、この設計でよいが、キャベツは栽培後期にかなりカリを吸収するので連作の場合、カリの補給が必要です。

6) 病虫害対策、特に大敵コナガ退治

●キャベツの病害

萎黄病・・・抵抗性品種の利用、土壌消毒

根こぶ病・・・武田ダコソイル・ネビジン粉剤・フロンスайд粉剤や抵抗性品種の利用

黒腐病・・・スターナ水和剤、ナレート水和剤、テレオ水和剤、バリダシン液剤5

●キャベツの虫害

コナガ、アオムシ、ヨトウムシ・・・プレオフロアブル、アディオン乳剤、ハクサップ水和剤、エスマルクDF、パダンSG水溶剤

(Iー農力掲載の肥料部資料より)

病害虫発生情報

5月に各県から出された病害虫注意報・特殊報から、主要なものをお知らせします。

コナガ

キャベツ：岩手県

あぶらな科野菜：岐阜県

岩手県では産卵量が、岐阜県ではフェロモントラップでの誘殺数が平年よりはるかに多く、今後平年並みの気温で推移するとの予想からみても、多発が予想されています。

防除薬剤としては、プレオフロアブル、パダンSG水溶剤、BT剤（エスマルク・フローバック・ゼンターリ）など系統の異なる薬剤のローテーション散布をお勧めします。

黒星病

なし：茨城県、福島県

発病した果そう基部、葉及び果実は二次伝染源となるので、見つけ次第除去し、土中深く埋めてください。アンビルフロアブル、サルバトーレME、ベンレート水和剤などの薬剤で防除してください。



せん孔細菌病

もも：岡山県

前年秋期の台風により病原菌が広範囲に飛散・感染し、越冬伝染源量が平年より多くなっています。このため、今年の発生圃場率は平年よりも著しく多い状況です。

防除は、ストレプトマイシン剤を主にし、系統の異なるバリダシン液剤を組み合わせた防除がお勧めです。

腐らん病

りんご：福島県

早急に病患部を削り取り、切り口に殺菌塗布剤を塗布してください。果梗からの感染を防止するため、予備摘果終了時を目安に、ベンレート水和剤を散布し、発生が多い園では収穫終了後にも、ベンレート水和剤を散布してください。

ナモグリバエ

レタス：長野県

春レタスから多発傾向が続いています。

ベストガード粒剤を定植前の苗の時期に株元散布してから植え付け、本圃ではパダンSG水溶剤の散布による防除がお勧めです。

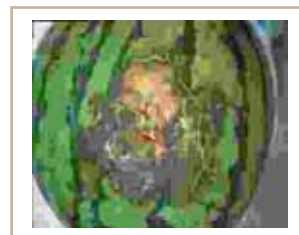
果実汚斑細菌病

すいか：熊本県

過去アメリカで大発生して問題となっている病害です。日本では、平成10年に初めて確認されています。種子で伝染するので、保菌種子が第1の伝染源になり、接ぎ木や摘心などの管理作業や、頭上灌水や雨滴により病原細菌が周囲に飛び散り、二次伝染します。

同病と疑わしい病徴が見られたら、直ちに病虫害防除所、農業普及指導課に連絡し、診断を依頼してください。（詳細は熊本県病虫害防除所ホームページ特殊報をご覧ください）

(I・T)



登録情報

▽以下の剤が6月1日付けで適用拡大されました。

◎スターナ水和剤

★はなっこりー：軟腐病／2000倍／収穫前日まで／2回以内／散布

◎ブイハンターフロアブル

★茶：カガチャコカネ幼虫／125倍／5L/m²

発生初期／3回以内／土壌灌注

◎武田オルトラン水和剤

★いんげんまめ：アブラムシ類／1000倍／収穫14日前まで／3回以内／散布

★使用液量追加（高濃度少量散布）

ばれいしょ：アブラムシ類／300倍／25L/10a

(I・T、S・H)

トピックス

☆種苗に関する省令が変わります！

(平成17年6月21日施行)

○種苗法施行規則の一部を改正する省令

食用及び飼料の用に供される農作物等（果樹を除く）の種苗であって、農薬を使用したものはについては、その旨並びに使用した農薬に含有する有効成分の種類及び当該種類ごとの使用回数を表示する。（これまでは、使用した薬剤名の表示のみでした。）

○農薬を使用する者が遵守すべき省令の一部を改正する省令

食用農産物の生産に、上記の表示のある種苗を使用する際には、有効成分の種類ごとの総使用回数は、種苗生産時に使用した回数を控除したものとなる。（例えば総使用回数4回のものが、苗の時点で1回使用されていると、定植後に使用できる回数は3回となります。）

(I・T)

ラム・そば談義

最近、我が家で「そば打ち」をする機会がめっきり減った。

女房に言わせれば、「そろそろ飽きぎきたのじゃないの」と云われる。そうかも知れないと思う反面、家族で食べてくれる人がいなくなったのだと思うようにしている。しかし、正直云って上手く打てないことのほうが多くなった。今が継続するかどうかの微妙な時期であることには間違いない。

そんなことを思いながら、武田薬品本社の裏にある「元禄そば」の店主にそば打ちが不振であること伝え、「不器用な人ほど長続きするのですよ」と言われた。上達が遅い人は器用な人の何十倍と練習して技術を身に付けるようになるが、逆に器用な人は早く上手くなるが飽きも早く、本当に身につくまでにやめてしまう人が多いそうだ。

「元禄そば店」の店主は由緒正しい山形のそば職人の家系である。私が、趣味でそ

そばを打っていることを話すと、店の定休日に来ればコーチをしてくれるとのことだと思い切って門を叩いた。そこで見たプロの技は、少し自信のあった腕を見事に砕かれ、気持ちが少し落ち込んでしまった。あれ以来、どうも上手くいかなくなってしまったような気がする。上手くなるつもりでコーチを受けたが、逆に意気消沈してしまったというのも皮肉である。

さて、お客様相談室も今までは順調に推移してきたが、少し慣れが出てきてそろそろ中だるみをする頃である。このような時期をどう乗り切っていくかは、元禄そばの店主ではないが、初心に一度帰ってみて地道にやっていくしかないかと思っている。不器用な人間はコツコツと亀のように一步一步粘り強く進んで行くしかないのだと、そば打ち同様肝に銘じ皆で乗り切っていきたい。

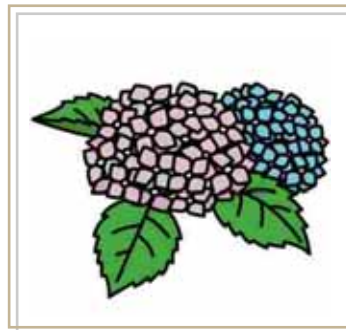
(F・N)

[編集後記]

四半世紀ほど前のように、季節はハッキリしているほうがよいと切に願うようになった。夏は暑く、冬は寒い方がよい。また、梅雨もほどほどの期間あって、その梅雨明けはスカッといきたいものだ。

ところで、今年は何だか虫の季節のような気がする。東京の郊外でも非常にアブラムシが多く、通勤の途中にアブラムシが衣服にかなり付き、空を見上げると空中を大群が回っている。

さて、相談室には登録内容の相談が非常に多くなった。例えば、希釈倍率を間違えて散布したが大丈夫ですかとか、ラベルに登録がない作物を記載していないのは如何なものかとか、隣の畝に農薬が飛散しそれが登録ないとどうなるか等々。農家さん含め一般の方も登録（ラベル）に非常に敏感になったように思う。登録遵守は当然だし非常にいいことと思うが、少し、過剰反応気味になっているようにも感じられるのは私だけだろうか・・・？



表紙の挿絵「オオヤマザクラとアカゲラ」 技術顧問 富樫氏作